

平成25年第3回（9月）定例会 議会運営委員会報告書

議案番号	議案の名称	審査結果	採決日
請願第25号	開かれた市議会をめざし宝塚市議会・議場の活用を求める請願	不採択 (賛成少数)	9月19日

審査の状況

① 平成25年9月19日（議案審査）

- ・出席委員 ◎寺本 早苗 ○浜崎 史孝 浅谷 亜紀 田中 こう
富川 晃太郎 中野 正

② 平成25年10月8日（委員会報告書協議）

- ・出席委員 ◎寺本 早苗 ○浜崎 史孝 浅谷 亜紀 田中 こう
富川 晃太郎 中野 正

(◎は委員長、○は副委員長)

議案番号及び議案名

請願第25号 開かれた市議会をめざし宝塚市議会・議場の活用を求める請願

議案の概要

<請願の趣旨>

文化芸術に触れる「場」の整備について、市内にはベガ・ホール（約420㎡、372席）、ソリオホール（280㎡、300席）、文化創造館ホール（269㎡、180席）などの文化施設があるが、阪神間他市との施設格差は歴然としている。新たな文化施設を積極的に検討いただくことは当然として、今ある施設の有効利用も考える必要がある。全国的には、議会の議場を開放する議会も出てきており、議場ロビーをギャラリーとして展示などを実施している先進地もある。

宝塚市議会の議場は、約370㎡、150席。また、「議場コンサート」や議員研修会を兼ねた「議会講演会」を既に議場を使って開催している。そこで、市議会定例会の閉会中に議場開放をしていただき、文化芸術の振興にご協力いただくよう下記項目について求めるもの。

<請願の項目>

- 1 市民に開かれた市議会を目指して本会議場などの開放及び貸し出しについて、検討をお願いします。
- 2 将来、議場の改修を行う際には、可動式議場として多目的利用可能な設計を検討していただきたいと思います。

論 点 なし

<質疑の概要>

問1 宝塚市議会の議場のキャパシティは。

答1 議場の席数として、議員席30席、理事者席36席、傍聴席は車いす用2席を含む84席の計150席となっている。

問2 市内の公的なホールの状況は。

答2 ベガ・ホール（372席）、ソリオホール（300席）、文化創造館・ホール（180席）、東公民館・ホール（200席）、西公民館・ホール（150席）、中山台コミュニティセンター・多目的ホール（200席）、西谷会館・多目的ホール（200席）の計7施設がある。

問3 議場の開放について、音楽コンサートの使用で主に傍聴席を開放するのか、また、講演会や会議的な使用で議場の座席全体を開放するのか、こういった貸し出しスタイルを想定しているのか。

答 3 宝塚市または宝塚市議会が主催・共催となる事業を想定しているが、イベントの内容については想定していない。

まずは貸し出しをすることを決定いただいてから、議会で要綱や貸出対象等のスタイルを決めていただければ良いと考えている。

問 4 議場の机と椅子は固定式だが、市役所内の大会議室は、机と椅子は可動式であり、キャパシティも 210 席で議場より多い人数を収容できる。なぜ議場に着目しているのか。

答 4 大会議室は既に様々な団体の総会や会議の場として使われている。請願者は議会としてできることを考えていただきたいという思いがある。議場は、議会が占用しており、実質利用日数としては 1 定例会あたり 6 日か 7 日で、年間 4 回の定例会で計 24~28 回と少ない。より多くの市民に議場を知っていただきたいという思いもある。

問 5 議場コンサートを開催した際の控室はどうしているのか。

答 5 議場コンサートは過去に 3 回実施した。本議会がメインの中で、当初予算を審議する定例会のオープニングという位置付けで行っている。控室については議長室や応接室を臨機応変に使用している。

問 6 市内の公的なホールの稼働率は。

答 6 平成 24 年度の稼働率が、ベガ・ホールは 55.0%、ソリオホールは 49.2%、文化創造館・ホールは 36.0%、平成 23 年度の稼働率が、ベガ・ホールは 53.8%、ソリオホールは 45.4%、文化創造館・ホールは 27.7%。

問 7 請願のタイトルに「開かれた市議会」とあるが、議場を市民へ貸し出しすることとはつながらないのではないのか。

答 7 議員及び議会の意識をかえていただきたいと考えている。議場は貸館をするような場所ではないという概念を変えることが開かれた市議会につながる。

問 8 子ども議会の位置付けは。

答 8 市が主催する事業で、子どもたちに議会のしくみを体験してもらうもの。議場での開催は全国的な流れでもある。

問 9 議会の業務に支障はでないのか。また、議会では通年議会についての議論もあった。臨時会の開催と貸出日が重なった場合、どうなるのか。

答 9 先進自治体では、基本的に業務に支障はないと聞く。また、先進自治体では予約日時の変更の規定を設け、「議会の用務に使用する必要があるときは、その予約

日時を変更または取り消しすることができる」としている。

問 1 0 市内にホールが少ないとのことだが、平日の稼働率は低い。市民の声としては、収容が 1,000 人規模の大ホールが足りないと聞く。議場をホールとして開放しても市民ニーズは満たされないのではないか。

答 1 0 趣旨が違う。ホールの充足だけではない。先進市でも市内に 1,000 人規模の大ホールがあるが、議場を開放している。

問 1 1 行政財産の目的外使用の判断はどこがするのか。地域に対して貸し出した事例はあるのか。

答 1 1 現在、放火事件の影響で庁内の会議室が不足しているため、市の主催する会議に議場や議会の委員会室を貸し出している。しかし、貸し出しは緊急避難的なものであり、本来、議場は市の所有のもとで、議会が占用的に使用している。本来の目的外の使用で通常以上の判断が必要な場合は、市の判断となる。市民へ貸し出しを行うには、「公の施設」として規定しなければならない。

問 1 2 議会が議場を占有使用している意味をどう捉えるのか。議会は常に動けるようにしておかなければならないのでは。

答 1 2 定例会の場合は日程を想定できるが、臨時会の開催については、懸念を持っている。

問 1 3 貸し出しを行う際に、議会事務局の職員の負担はどうか。

答 1 3 先進自治体では、放送機器の使用において議会事務局職員がサポートを行っている。業務の増加が見込まれる。

問 1 4 放火事件以降、議会棟のセキュリティが厳しくなっている。議場を開放することによって、議会棟に不特定多数の来場者が行き交うことになるのではないか。

答 1 4 セキュリティについては今後、開放が決定すれば、議会側が検討していくことになる。

自由討議

委員 A 請願者は、「市民に開かれた市議会を目指して本会議場などの開放及び貸し出しについて、検討を」と願われている。議場を開放しないことも含めての「検討」と解釈してよいのか。また、市庁舎が村野藤吾氏が設計した建築物であることを PR することも必要ではないか。

委員 B 本請願は、実施を願うものではなく、市議会が検討することを願うものと解

積している。ここで全てが決まるものではない。

委員C 本請願は、議場の貸し出しの是非を問われている。採択するという事は、議場の貸し出しをすることが前提で、次の段階へ議論をすすめることを意味すると考える。

委員D 基本的には議場を開放してほしいと願うものと解釈する。議会運営委員会に本請願が付託されている。議場の運営は議会運営にかかわることであるため、今後の検討すべき委員会も議会運営委員会しかないと考えている。

委員C 請願項目にある「市民に開かれた市議会を目指して…」は、議会主催の議場コンサート、議場での議会講演会など、既に取り組んでいる。また、音響効果を求めるなら市内にベガ・ホールがある。ギャラリー的な使用では、より市民の目につきやすく、人通りの多い1階市民ホールの活用に着目すべきではないか。

委員F 代表紹介議員からは、議場の開放を前向きに決定し、詳細は検討して欲しいとの説明があった。検討することは大事だが、議会報告会の開催や、賛否を公表するなど「市民に開かれた市議会」となるよう取り組んでいる。「市民に開かれた議場」とは意味が異なるのではないか。市内の各ホールの稼働率は、満杯ではない。市民ニーズとして1,000人規模の大ホールを求める声がある。議場を開放することで市民ニーズが解決するものではない。

委員B 貸館が不足しているから議場をとというだけではない。市側は市全体として「文化行政」に努めている。議会側としても、文化を育てる協力をしていただきたいという趣旨ではないのか。

委員D 請願者の思いと議論がずれているのではないか。議場は、議会が占有使用しているが、本来の使用目的から外れる場合、使用許可の判断は市の権限となっている。議場コンサートは逸脱していないが、今後、市民へ議場を開放するとなれば、議会の権限範囲を超える。

委員G 議場の開放については、制限のある中で何が実施可能なのか、市民へ議会活動を理解いただくためにどう取り組んでいくのかを、検討していくことは必要であり、趣旨は理解できる。趣旨採択としてはどうか。

討 論

(反対討論)

討論 1 議場を市民に開放し、議場を知っていただく取り組みは、議場コンサートや講演会など、既に実施している。文化芸術に触れる「場」は、議場でなくても他の施設で対応可能である。様々な課題もあり、採択は困難と考える。

審 査 結 果 不採択 (賛成少数 賛成 2 人、反対 3 人)